

令和7年3月24日開催
調査

議会改革調査特別委員会資料

○調査事件 議会体制の在り方・議員のなり手確保対策等議会改革について

福島町議会事務局

調査事件 議会体制の在り方・議員のなり手確保対策等議会改革について

1 前回会議の確認

令和6年12月24日に開催した特別委員会では、議会体制の在り方・議員のなり手確保対策等議会改革について、資料に基づき各議員からの意見を集約した結果を基にスケジュールを組み立て、2月開催の懇談会において、議員と町民との距離を詰める対策をメインテーマとして町民との対話に臨み、2月中旬開催の渡島西部四町議会議員連絡協議会研修会において実施する、なり手対策としての「栗山町議会・議員の学校」についての講演でしっかり研修し、4月以降に実施予定の先進地視察研修に臨んでいくことを議員間で確認、さらに調査を要するものとして継続審議としております。委員会で出された主な意見等は以下のとおり。

①見直し項目の検討の進め方

見直し項目として揚げた4項目のうち、①議員定数について②議員歳費について④議会改革の見直しについては、今後の対応で決めることとし、まずは③の議員のなり手対策を優先する。

②研修塾の開催を検討

研修塾の開催については、2月の四町議会協議会研修会において実施する、栗山町議会斉藤副議長による講演を参考にし、疑問点等を整理して今後の対応に反映させる。

③住民と議会の距離を縮める方策を検討

現在実施している懇談会の手法が、目的に沿っているのか判断が難しい状況で、町民のコミュニティ意識の脆弱化が問題となっていることもあり、特に若者との意見交換ができる場を作る対策として、2月の懇談会では、積極的に参加していただき、このテーマについても話し合う場を持てるよう進める。

2 今後の議論の進め方

前回会議での議論において出された意見等のうち、すでに「町民と議員との懇談会」と「栗山町議会斉藤副議長による講演」については終了しており、それぞれ報告の取り纏めは終わっておりますので、今後は、具体的な方策について議論を進める必要があります。

また、見直しのスケジュールにおいて計画している「先進地視察」の目的地をどこにするのかを決める必要があります。

3 見直しのスケジュール

見直しに係るスケジュールについては、以下のとおりです。

年月日	内 容
R6.1	議運委員へのアンケート
R6中	特別委員会で見直しの内容を検討
R7.2.3～10	町民と議員との懇談会で検討状況を報告
R7.2.18	四町議会議員協議会研修会（議員のなり手不足対策：栗山町）
R7.5～6	先進地視察を実施
R7中	特別委員会で見直しの内容を検討・確定
R8,2	町民と議員との懇談会で見直し内容を報告、意見を聴取
R8.6	6月定例会で関係条例等の改正を上程

【参考資料】

○道内町村議会のうち、議員構成に占める「新規なり手」「若者」「女性」の比率が高い町村リスト

① 2 期以内の議員の比率が高い議会

町村名	議員定数	議員実数	1期	(うち女性)	2期	(うち女性)	計	比率
南富良野町	8	8	6	2	1	0	7	87.50%
北竜町	8	8	5	1	2	1	7	87.50%
南幌町	11	11	6	1	0	0	6	54.55%
浦幌町	11	11	3	3	3	0	6	54.55%
新十津川町	11	10	5	2	0	0	5	50.00%

② 5 0 歳までの議員の比率が高い議会

町村名	議員定数	議員実数	2 0 代	(うち女性)	3 0 代	(うち女性)	4 0 代	計	比率
浦幌町	11	11	1	1	3	2	2	6	54.55%
新十津川町	11	10	0	0	3	2	1	4	40.00%
美深町	11	11	1	0	1	0	2	4	36.36%
倶知安町	16	16	0	0	0	0	5	5	31.25%
白老町	14	14	1	0	1	0	2	4	28.57%

③ 女性議員の比率が高い議会

町村名	議員定数	議員実数	女性議員数	比率
新十津川町	11	10	5	50.00%
幕別町	19	19	8	42.10%
東川町	12	11	4	36.36%
中標津町	18	18	6	33.33%
余市町	16	16	5	31.25%

※第70回町村議会実態調査結果（R6.7.1時点）から抜粋

4 町民と議員との懇談会で出された意見等（報告書から抜粋）

議会 16会場（107件）

議員定数の適正規模については、「人口減少に合わせて定数を減らすべき」「定数を減らすと議会活動が維持できなくなる」「定数を減らすことでさらに若者が立候補しにくくなる」といった賛否両論の意見が出されました。議会としては、単に人口減少に応じて定数を減らすのではなく、町の実情に合った適正な規模を見極める議論をさらに進めてまいります。

議員歳費については「歳費は上げて構わないと思う。それなりの活動日数もあるし、活動内容も片手間にできるものではないのだから。ただ、人口が減少するなかで必然的に適正な定数を考えることになるのでは」「定数や報酬を考えると、若い人たちが入る道を残すように考えて行った方がいいと思う」「これだけの日数を活動すると、仕事を持っている人は厳しいのではないか。対策としては報酬を上げるしかないのではないか」などの意見が出されました。増額に対して否定的な意見はあまり見られませんが、人口減少に伴う適正化が必要という意見が見られました。議会として、議員の活動内容や負担に見合った歳費水準や、若い世代が議員になりやすい環境について検討していく必要があります。

議員のなり手不足については、「漁師や農家などの一次産業従事者が議員を務めるのは難しい」「自営業者でないと議員活動との両立が厳しい」「報酬の問題ではなく、仕事が忙しくてできない」といった意見や「若い人や女性議員がいないのはなぜか」との声もあり、クォーター制の導入など、多様な人材が議会に参加できる仕組みの必要性が指摘され、議会として、モニター制度の導入や、町民に議会活動をより身近に感じてもらうための取り組みを検討していく必要があります。

議会改革に関する意見では、「議会の会議が多すぎて若い人が参画しづらい」「今の議会の体制では若者や女性の立候補は難しい」といった意見がありました。特に、議会の活動日数の多さや、専門的な働き方が求められることが、議員のなり手不足につながっているとの指摘もあり、議会としては、他自治体の事例を参考にしながら、議会の在り方や活動負担を見直し、改革を進めていく必要があります。

「町政懇談会と議会懇談会の違いがわからない」「行政と議会の役割の違いが明確でない」といった声もあり、議会としても、町民に対して議会の役割や機能をより分かりやすく伝える努力が求められておりますし、懇談会の開催時期に関する意見、「悪天候の時期に実施するのはいかがなものか」「町政懇談会と議会懇談会を分ける必要があるのか」といった疑問も寄せられ、今後、より多くの町民が参加しやすい形を模索していく必要があります。

今回の懇談会で出された意見を踏まえ、なり手不足の解消、議会改革の推進、定数や歳費の見直し、議会活動の透明性向上などについて、引き続き検討を進めてまいります。

松浦・吉野（松浦・吉野町内会館）6人（男5人、女1人）
3日（月）17：56 ～ 19：09

町民の発言	議員の説明
議員の仕事は大変だと思っており、漁師や農家が簡単に出来ないと感じている。 また、なり手不足は報酬の問題ではなく自身の仕事が忙しいことが要因ではないか。自営業でないと無理では。	今、議員には一次産業等の専門家がいらない。また、女性議員もいないため質問意見等に生活感がない。 議会も働き方改革は必要とは思っている。例えば漁師の方であれば夏は欠席して、それ以外の期間だけ出てきてもらうことも有りではないかと思っている。議論はこれからですが。
大半の人は議員になったことがない。漁組等へ相談してみてもは。20代、30代出てくれれば良いが・・・	今の議会の体制（通年議会、所管事務調査など）では、若者・女性は無理だと思っています。
簡単に決められるものではない。責任が重く自分には無理。（女性）	前向きに考えてほしい。 現制度では無理だが、クォーター制なども検討して行ければ・・・

吉田町、館古（役場）3人（男3人、女0人）
3日（月）18：00 ～ 19：00

町民の発言	議員の説明
参画者が少ないってことは、議会に興味がないということではないか。	参画者が少なくなった原因は、インターネットでも閲覧可能となったことも要因ではある。

宮歌、豊浜（宮歌・豊浜町内会館）9人（男9人、女0人）
3日（月）18：00 ～ 19：10

町民の発言	議員の説明
昨年12月に町政懇談会、2月に議会の懇談会ということで、毎年開催されています。できるだけ出席してもらおうと声かけをしていますが、その時に聞かれたりすると困ることがあります。というのは、ついこの間、12月に町政の懇談会があって、2月にまた懇談会やるということ。 議会と行政の関係、構成について、今日出席している方の中にも、こういう疑問があると思います。ある程度簡単にでもご説明いただけたら。	議会と行政の関係や役割について説明。（独任制と合議制、予算執行と予算決定等）同じような懇談会を繰り返す必要はないのではという声も聴いているが、町は当然住民の声を聞かなくてはならないが、議会としても住民の声を聞く機会を持ちたいと考えている。町政懇談会では言えなかった話を議員との懇談会ですることもできるので、気さくに色々な話を聞かせていただきたい。

吉岡1・2、吉岡3（吉岡総合センター）8人（男6人、女2人）
4日（火）17：58 ～ 19：14

町民の発言	議員の説明
12月会議の一般質問、ハンターの件について行っていたのは良かった。 福島町はクマの問題もあるが、ハンターの後継者という難しい問題もあると思っていたので。	現在1名が見習いとして経験を積んでいることを説明。
現在1名欠員となっている中で、専門的な分野（委員会）を分けてやっているのであれば、欠員分は負担になっていると思うが、支障は出ていないのか？	現在、総務委員が6人、経福委員が5人となっているが、委員外議員として参加するなど協力してやっている。
そうであれば、定数を減らしても良いのか…。	委員が1人減るということは、その分意見が無くなるということ。8人で10人のことは出来ない。
じゃあ、人口が減っても定数10人で行くということなのか？	人口が減っても町の仕事は減っていない。そこで所管事務調査も多く、定数を減らした場合、議論が抜け落ちる危険がある。
議長、副議長はどうやって決めているのか？ 議長、長いのが少し気になる。若い人に対してプレッシャーになるのでは？	議員で選挙により決めています。
議員活動を行うにあたって議員の高齢化は気になる。	議員構成の現状を説明。 現状、議員平均年齢 67.7歳

町民の発言	議員の説明
昔は自営業者が多かった。今は自営業者もそんなに居ない。 役場OBも居ないと思うが、役場OBであれば2～3期はやれるのでは？	役場OBは現役時代に関わってきたため、もういいという気持ちかもしれません。
次期、出ない人はいるでしょ？ でも、定員割れすれば、そういう人もなれるんだよね？	宣言した人はいますが、最後はその人の意思次第です。
町の仕事の分野も考えなければならない。人口が減ったとしても定数を減らすとはならない。しかし、平均年齢が上がっているのは気になる。何が正解か分からないが、今の議会の活動日数を見ると躊躇すると思う。 諮問会議委員とかの手ごたえはどんな感じなのか。一般町民は後ずさりすると思う。	諮問委員はなかなか厳しい。 若い人が立つには収入等の足かせがある。 雇われている人が議員になるには雇用主の理解がないと無理。 福島町の今の活動量では無理なのかもしれない、議会を改革していく必要がある。
会議が多く、若い人は二の足を踏む。その辺を改革する必要があるのでは？ モニター制でもなんでもやって興味をもってもらえる様にしようと思うが。モニターやれば、若い人もその辺分かるかなと思う。環境を作るのが大事。事業主への理解を得ることも大事、後継者は大変だと思う。	今月、議員の学校について研修会を実施する。福島町も思い切ったことをやる必要があると考えています。

白符（白符町内会館）8人（男6人、女2人）
4日（火）17：57 ～ 18：52

町民の発言	議員の説明
こういった集まりに若い人がこないのは、やっぱり意識がない。もっと議会が参画を呼び掛けてこれでもかと執拗な行動も必要だと思う。 30万くらいないと、今の若い人は出てこないのでは、報酬上げるとまた苦情が来ると思う。もっと若者が参画できるように頑張ってもらいたい。興味をもてるように僕らも頑張って呼び掛けていきます。ただ片手間で働ける職業ではないから仕方ないといえば仕方ないかもしれない。	頑張って若い人が興味持てるように呼び掛けていきたい。
木古内で議員を減らすといった話があるが、今の福島は自然現象で減ってしまうと思う。今の仕事を捨ててまで議員の仕事をする気になれない。	
100日出ることが今の若い方が出てくる仕事のスタイルを見つけることが必要。	

上町、本町、川原町（役場：機能回復室）2人（男2人、女0人）
4日（火）18：00 ～ 19：15

町民の発言	議員の説明
歳費は上げても構わないと思う。それなりの活動日数もあるし、活動内容も片手間にできるものではないのだから。 ただ、人口が減少する中で必然的に適正な定数を考えることになるのでは。	福島より人口の多い木古内で定数を減らす方向で話をしているので、福島でも減らすべきではという声もある。

町民の発言	議員の説明
適正な定数というのは、全道レベルで考えるべきなのか、それとも渡島や近隣町といったレベルで考えるべきなのか。	定数の考え方として、400人に対して議員1人としている。前回の時点でギリギリだったので、次の選挙では間違いなくこの基準には合わなくなってしまう。 福島町議会は常任委員会での活動を重視して、議会としての考え方を行政に伝えるという形式をとっている。定数を減らした場合、減らした定数での議会のあり方を考えなくてはならない。 今後、芽室町など先進地を視察して情報を集め、今後どうしたらいいか考えていく予定。 近隣町の中で最も人口が少ないのは福島町であり、福島より人口の多い木古内や鹿部でも定数を1名減らしている。しかし、人口が減ったから定数も減らすという単純な話でもない。
当面、定数はそのままでもいい。 定数を減らしてしまうと若い人が入りづらい形になってしまうのではないと思う。人口が減ったのだから定数も減らすという単純な話ではなく、若い人が入ってこられる体制を作っていくというのも今議員をしている人たちの役割ではないかと思う。	クォーター制について説明。 前回の選挙前、新たな立候補者の掘り起こしとして、各種団体の青年部や女性部と議場で懇談会や、諮問会議の人数を増やすなどの対応を行ったが、新たな立候補者はなかった。
新たな立候補者が出てこないのは報酬が低いからではないか？	報酬だけで生活していけるレベルになれば良いのだろうが、現実的に難しい。
定数や報酬を考えると、若い人たちが入る道を残すように考えて行った方がいいと思う。	常任委員会を維持できるようにしていきたい。今回の懇談会についてなり手になり得る団体等に案内を送ったが、今のところ参加者はいないようだ。
これだけの日数を活動するとなると、仕事を持っている人は難しいのではないか。 対策としては報酬を上げるしかないのではないか	漁業者などに話を聞くと、仕事と両立するのが厳しいという話がある。 家族からの理解が得られないという話もある。女性だと、旦那を差し置いて出るとするのも難しいのかもしれない。
町内会長でも、配偶者や家族の理解や協力がなければ活動することは難しい。	議員もその通りである。
一方ではお金をもらっているのだからという人もいる中で大変だと思う。	議会の歳費の考え方について説明
議員の報酬は全国で同じではないのか	昭和30年に全国議長会で議員報酬を計算するモデルを示したが、全ての議会がそれを採用しているわけではない。近隣町での上げ下げに合わせているところもある。
道や国会議員もそうなのか？ 全て統一したらいいのでは。	道議会議員や国会議員は町村議会とは違うと思う。
町村議会の方が進んでいる。国会などは職員が質問を作っているらしい。	一生懸命な人もいるとは思いますが、学芸会だと言われてしまっているところもある。

日向1、日向2、日向3（日向町内会館）3人（男 3人、女 0人）
5日（水）18：15 ～ 19：25

町民の発言	議員の説明
議員には地域の声を聴いてもらえると思っている。人口が減ったから議員を減らせという考えはない。 議員の定数としては今の10人がギリギリだと思っている。 町内会が要望したことは大体解決しているため、問題があるとは思っていない。	人口が減ったら議員も減らすべきとの声は一定数ある。人口が減り、町も要望などは大体対応しているので議員の意義が薄れてきているとは思っている。
町内の団体に声を掛けてはどうかと意見したことがあり、実際やったようだが、それでも如何にもなっていないのであれば、世襲に頼るしかないのではないか。	議会の働き方も検討していく必要があると感じている。会議の数が多い所も整理していくことも考えている。

町民の発言	議員の説明
モニター制は良いと思う。	モニター制は他町において実績があり検討している。先進地の取り組みをマネして実施することも必要と感じている。
漁組などは補助金など要望を出しているのに議員を出すという気持ちにならないのか。それが残念に感じる。	できれば出てほしいと思っている。可能かどうかは別として、漁業者でなくても漁組の職員などでも良いのではと思っている。
町長と議員がきちんと議論してやっていると思っている。議員が一生懸命やっているから、町民から不平不満が出ていないと思っている。	昔から見ると計画の精度などは上がってきていると思うが、一次産業などについては専門的な知識が足りない部分もある。
コンブ業者は世代交代されていると思っており、後継者が育った所の親に議員になってもらえれば良いと思うが、今口説けるとしたらそこの辺くらいではないか。	コンブは一定期間に集中して忙しくなるため、議会活動との調整が難しいことが想定される。議会としても会議の開催時期等を議論してくことも必要と考えている。
女性部の部員も高齢になっているが、一人二人出来そうな人はいると思うが、各団体との懇談の際に出れない理由とかは聞いているのか。	真面目に受け取ってくれていない部分もある。家族から説得していくことも手かなと思っている。

館崎1、館崎2・3（吉岡総合センター）3人（男3人、女0人）

5日（水）17：55 ～ 18：55

町民の発言	議員の説明
定数割れになって、1減のままでいいのか？2減とし、報酬を上げた方がいいのではないかな。	情勢を見ると人口も少なくなってきたし、1減もしくは2減となっても仕方ないと思っているが、そうすると委員会の維持が大変となってくる。
報酬を上げて若い人が入るようにしたらどうか？	難しいけども8年までに委員会の維持、報酬等の協議を進め結果を出す方向で、動いている。
委員会の人数が少ないと大変ではないかな？	委員会の回数が昔より多い状況ではある。
仕事をして20万ちょっともらって生活するのは、若い人だと厳しい。委員会が20数回に定例会、その間仕事を中断しなければならない。	
若い人は何もやりたくないと言っているわけではない。時勢が悪い。どうしてもお金がかかる世の中であり、仕事をしながら議会の活動をするのは、厳しい。	
議員定数を維持するためには、人口を増やしていくほかない。	
議員を四町でやるのはどうか。この渡島西部四町は協力的な町だし、町長同士各町でも同じ問題を抱えている。話し合えば実現するのではないかな。	四町でやるといっても、実際は単町の予算等の協議を行う場でもあり、難しいと思う。ごみや有害鳥獣施設は実施できているが。

月崎1（月崎1町内会館）5人（男2人、女3人）

5日（水）18:00 ～ 19:19

町民の発言	議員の説明
議員のなり手については、意欲がないそこまで興味がないというのが現実。それでもなってほしい、となると中々説明がしづらい。 お金だけの問題ではないと思う。報酬を上げるにしても限度はある。 議員や議会に対して難しさや仕事をしていると縛られてしまうという印象もあるのではないかな	行政と議会の違い（独任制と合議制）、行政の役割と議会の役割について説明。議会の役割は監視と評価にあるため、行政に比べると住民と直接関わる機会が少ない。議会の役割が中々理解されない要因もここにあるように思う。 これからは芽室町や浦幌町など議員のなり手対策の先進地を視察し、当町の対策に役立てていく予定。また、今月18日に開催する講演では栗山町議会副議長が議員の学校についてお話されるのでそれも参考にしたい。町民も参加できるので、関心があれば参加してほしい。
将来的には議員が増えることはあり得ないのだから、今後定数の削減も考えていかなくてはならない。	吉岡と福島が合併して70年。昭和30年は13,968人、昨年12月末で3,087人。人口は当時の4分の1にまで減少した。議員定数も溝部議長が立候補した当時は26人で、各地区の代表など様々な方がいたが、人口減少に合わせて、定数を減らしてきた。溝部議長になった時に、議員定数の考え方として人口400人あたり議員1人を目安とした。民意を反映するという観点では、色々な人がいた方が良いに決まっている。町民全員で会議を持つという方法もあるが、人口が3000人台という状況で実施するのは現実的ではない。 民意を十分に反映するには、定数10人が最低限必要ではないかと思っている。これ以上少ないと、常任委員会を重視した当町の議会活動を維持することが難しくなる。
議員に限らず公的機関も人数が足りないということになっている。なり手を探すのであれば、青年部や女性部で活躍している人をピックアップして、普段から行政と繋がりのある人の方が良いのではないかな。	議場の雰囲気味わってもらうため、町内の各団体と議場で懇談会をするなどしてきているが、結果は無投票だった。
議員が団体と懇談する場を持つことは大切。	今後も各団体との懇談は続けていきたい。各事業所を対象にした懇談も考えている。
栗山町の講演会は各団体に案内しているのか？	している。
今後の議員の定数等については各町内会との懇談会などを持つのか？	ある程度議会としての考え方をまとめたものを来年の2月に素案を話せたらと思っている。
議案の審議結果に欠と記載されているがこれはどういうことか？	北海道の表彰を受けるため札幌に行っていたため欠席していた。
議員として表彰を受けるために欠席したのであれば、もう少し違う書き方をした方がよいのではないかな。ズル休みしたかのよう誤解する。	欠席の表記は病欠の場合「△」とし、それ以外の理由で欠席した場合は「欠」としている。
情報公開の関係で、町民が知りたい内容が入っていない。 熊なら何頭取ったとか、給食に町内米を使ったなら具体的に何割なのか、アワビなら取扱金額など、町民が興味を持ってくれるように具体的な数字を載せた方がよいのではないかな。	誌面にも都合があるので、全てを載せるのが難しいが、今言われたようなことも今後は改善していきたい。
週刊誌風なものもある。そういうのがあると感心や興味を持って見る。	確かに見出しなどを工夫する余地はある。
15ページの神原先生の話を読んで感心した。（下水道事業の話）	当時の話を説明。

月崎2（月崎2町内会館）7人（男4人、女3人）

6日（木）18：00 ～ 19：32

町民の発言	議員の説明
今、議員一人当たり町民何人になるのか？	340人程度になります。
議員、何人が良いと思うかと聞くと、議員として最低何人いれば良いと考えているのか。	我々から何人と言うのは難しいが、現状のやり方で進めるなら10人は必要と思っています。
議会を廃止し、町民総会にすればよいと個人的には思っている。 又は、町内会から1人ずつ代表を出して集まれば良い。	それは現実的ではない。
議員報酬を上げるべき。報酬が低いと今の職を辞してまで議員になろうとは思えない。 （反対意見）そうではない、金のために議員になるわけではないと思う。	生活していける報酬も必要だが、議員には町を良くしたいといった想いも必要。
選挙に落ちると恥ずかしいという気持ちがかかなりあると思う。選挙に出るには勇気がある。町民から選ばれなきゃならないというのはハードルが高い。	モニター制を検討している。議員のことを知っていただき立候補に繋ぎたい。 町から出てくる案件が増えており、このままだと継続できないという危機感をもっている。

丸山団地（丸山コミュニティセンター）2人（男2人、女0人）

6日（木）17：58 ～ 18：33

町民の発言	議員の説明
定数10でなければ、議会運営はどうなるのか	当町は、委員会が多い。多いと約20回は開催する。人数が少なくなると委員会を回すのが手一杯となる。
他の町では定数8と、木古内町が先日の新聞でも8人としたとあったが。	8人だと委員会数を減らさざるを得ない。
現在は9人で行っているが、10人の定員でないとダメだという理由を周知し強調した方がいい。	現在9人。9人でもやっていってる現状からすると、町民の理解を得るのは難しいとは思ってますが。
報酬を上げるべき。通年議会だし、委員会数も多い。委員会があることで、定例会がスムーズに運営されている。委員会が必要である。	報酬を上げるには、町長の給与の率で議員の報酬が上がる仕組みとなっているので、まず町長の給与を上げねばなりません。
現在9人で定数を9人にするとしたら、最低9人は維持してもらいたい。本当は10人がいいのだけど。	

塩釜、浦和、岩部（塩釜町内会館）2人（男2人、女0人）

6日（木）18：00 ～ 19：10

町民の発言	議員の説明
議会で四散米舞等のことを言うのもどうなのかなと思うが。	町から補助金が出ているし、後継者不足などの課題もある。
今回の懇談会に参加するか迷ったが、参加して見れば色々な話ができるのだと思った。議会のことで話をするとと言われても難しくてわからない。	ざっくばらんにさまざまな話をするのが懇談会なので、難しく考える必要はない。
文句など出ることもあるのか？	ある。議員の活動についてよく理解されていない事も原因かもしれない。

緑町（福祉センター）1人（男1人、女0人）

7日（金）17：57 ～ 18：36

町民の発言	議員の説明
現在9名で、1名不足の状況で、残り1名という話と、次の選挙になると80歳を超える年齢も多くなかなか続けるのが厳しい。そうすると定員割れする恐れもあるため今の人数を確保するにも後継者が必要となる。定数減らして歳費を上げる、そうしないと若い人も入ってこないのではないか。	その考えも一つの考えと思っている。しかし、歳費を上げるにしても近隣四町と見比べても高い方であるのでなかなか難しい。
最低どれくらいの人数がいればいいのか。	人数が減ると偏った意見になると思われる。これからみんなの意見を話し合いながら決めていきたい。
人口減少に合わせて議員定数を減らすという考えは。	年々行政の仕事が増え、予算が増える。そうすると審議が増える。人口が減ったからといって議員も減らすとはならない。議員を減らした場合、議員の活動量も増える。難しい問題です。
国の経済対策については、福島町は早い。ほかの町に聞くとまだ出ていない。1か月から2カ月くらい後でないとでない状況だ。	福島は、通年議会としているため、国のある程度の経済対策が決まるとすぐ議会を開催して先行して行っている。
基幹産業は、漁業なのだから後継者がいる漁業者がいる漁業者に出てもらうのがいい。	なかなか難しい。議会に興味をもってもらい、仕組みを変えて行けば、松前、木古内でやっているモニター制を採用する方法等もある。

新栄町（新栄町集会所）4人（男3人、女1人）

7日（金）17：55 ～ 19：24

町民の発言	議員の説明
近隣町の議会、女性議員は何人いるのか？	知内町に3人、それ以外はいません。
やはり女性の声、多様な言われている中で1人でもいれば。そういう雰囲気を作れば良いとつねづね思っている。	議会で女性部とも懇談会を行ったが立候補する人はいなかった。
福島町の議会に年齢の上限はあるのか？	ありません。
そうであれば70であっても75であっても立候補してもらっては。	
過去に女性が立候補したことは？ その内、福島出身は何人？	これまで3人が立候補している。 福島出身は2人。
色々考えたが難しい問題。70歳の人でも進めてみては？	
同性の協力が無いと女性1人では無理。 議会だよりを見てると福島町は勉強しないと無理と感じる人が多い。なかなか簡単ではない。	知内町の女性議員は共産党といった組織のバックアップがある。
何時までもこんな事をやっていては議会要らないという話に進んで行ってしまう。	それは現実的には無理な話になる。
昔、町内会長に議員になってもらってはという話もあった。	街づくり協力隊が議員になるケースも増えているが、福島町はうまくいっていない。
議員、男女半々ぐらいが良いのではないかな。	理想はそうです。
福島の女性は強いと思っていた。 女性でUターンする人とかは居ないのか？	それは家の中だけ。 Uターンする人はいるが、子育てしている人も多い。

町民の発言	議員の説明
年金貰っている人、男性でも腹の中ではやりたいと思っている人はいるのでは？	色々やったがいない。 落ちたら恥ずかしいとか自分の仕事が忙しいなど。
オンラインは有りと思う。 民間でも行っているから。	タブレットが普及していることから、家から参加も可能ではないかと思っている。
議員定数割れ、定数を無くしたら無投票もなくなる。そもそも定数を無くす。やりたい人にやらせる。そういう風な法律の改正を促しては。	それは極端。無理です。
立候補しない要因はなにか。 行政に関心がない。生活できない等一番の要因がつかみきれない。	コミュニティの希薄化、自己中心的な考え方をする人が増えたのが要因かもしれない。 昔は行政はなにもしてくれない。今は何でもしてくれる。行政に対して不満が何も無いのではないかな。
議員が定数とかに苦勞しているのはどうかと思う。それは議員の仕事ではない。定数割れようが気にしないで。この問題は町民が考える問題。議員が考える問題ではない。	そういう考えもあるかもしれないが、議会としても考えていく必要はあると思っている。 先般行った中高生議会なども大事だと思っている。
立候補、本人の意思が重要。お金ではない思いがある人でないとダメ。 郷土愛を育てる。それがないと誰も議員にならないと思う。	それが悩み。
町内会連合会と会合もったことはあるのか？ 連合会役員と議員が直接話し合ってみてはどうか。	昔、やったことはあります。 そういった話し合いも行っていきたいと思います。
議員定数、2委員会を維持するなら12人位は必要。人口が減っても。報酬は30万ぐらい。一般的に生活が出来る位は必要だと思っている。	今は委員外を取っているが、委員会を一つにすることも検討している。 2月18日に栗山町から講師を読んで研修会を開催するので、時間があったら見に来てほしい。
委員会を一つにすると委員会の必要性が問われることになる。	福島町は本会議主義。所管調査が大事だと思っている。
福島町は先が見えてこない。基幹産業に支援金を出すということは基幹産業ではなくなっている。黒字になる事業がない。どうするのか見えてこない。	

三岳1（三岳1町内会館）4人（男3人、女1人）

10日（月）18：00 ～ 19：35

町民の発言	議員の説明
子育てをしている人の意見を聴く必要があると思うので、木村議員のような子育て中の議員がいるのは良いと思う。	自分でも考えるが、昔の人口が居る時とは全然違う、これから先のことは不安になる。
30代、40代の女性なら町内会に何人かいると思うが…。	是非、紹介してほしい、膝詰めで説得に行きます。
町内の経営者、若い人から聞いた話だが、会社の理解度を上げてもらわないと難しい。	他の会場でも同じような意見が出ているが、人手不足のなか事業主としても難しい所。国の法律などでそういった部分を決めてもらえれば良いが。
自分も仕事していると思うが、人手不足でなかなか理解してもらうのは厳しい。都市部は比較的容易だと思うが、田舎は厳しい。	若い人を入れるためにも議会改革をしていかなければと思っています。
定員の1割2割を女性にするという考え方はどうか。	色々な面で女性の目が必要と感じている。 クォーター制などもありだとは思いますが、制度的になかなか難しい。

千軒（千軒町内会館）9人（男4人、女5人）

10日（月）17:57 ~ 19:10

町民の発言	議員の説明
議会だよりの3年後の立候補者という記事について、議員の月額給与について掲載されているが、3年後も変わらないのか？	これは現時点のものであり、これから皆さんからご意見をいただきながら特別委員会で協議していきたい。今の議員報酬の計算方法を説明（活動日数に基づき、町長の30%として算出している）
3年後の選挙について、定数を減らすとかそういうことはないのか？すでに定数割れしているし、人口も減っている。	定数も今後の検討事項となっている。これまでは議員1人に対して400人を目安としていたが、現在はそれを割っている。住民の多様な意見の反映や現在の議会のやり方を維持するには最低限10人は必要ではないかと考えている。
議員って今は何人でしたか。	今は定数10人に対して実際は9人。
議員定数の話などは十数年前にも同じ話を聞いた。当時は定数が12人で、今後の人口減少を考えていくと定数を減らすべきではないか？と同じ考えを持つ仲間と運動をしたことがあるが、先ほどと同じ話をされ、議会としては減らすつもりはないということだった。 女性議員がいない、という話は5、6年前から有望な方を探して声をかけているようなこともあったが、落選すると恥ずかしいということだった。しかし、そういう不安や懸念を上手く説得して導いてやれば良いのではないかと思うが。	過去に女性議員として2名が活動していた。また、落選したものの立候補した方もいた。女性議員の擁立について定数の内一定数を女性枠や若者枠とするクォーター制という方法もあるが、現在の日本では法律上難しい。若い世代にも声をかけているが、落選への不安や仕事との両立が難しいという回答が返ってくる状況。
町民より議員の方で候補者を探した方がいいと思う。	産業団体、文化団体、スポーツ団体、福祉関係の方々と議場で懇談し、実情を説明して候補者擁立をお願いしたが、結果に結びついていない。
議員さんたちに候補者を探せと言っても、いざ選挙になったら競争になってしまうし、無理があるのではないかと思う。	自分の後継者を探して声をかけているが中々立候補に踏み切れないという返事が返ってくる。
自分は辞めるから後継になってくれというならまだわかるが、そうでないならなかなか難しいのではないか	そういう面はあると思う。
福島町は平和で満たされているから、わざわざ立候補しないのではないか。 今回の鹿部でたくさん立候補者が出たのは「ちょっと待てよ」と何かしら思いがあって立候補したと聞いた。	鳴海町長になってから、町内会要望に対する対応が早いことや、子供や子育てに関する支援は国に先駆けて行うなど全般的に対応が早いという面はある。
町政懇談会の時に様々な要望をしたのだが、その内容を議会の中でこういう内容があったと話をする機会などはあるのか？	議会での懇談会の資料として町政懇談会の報告書をもっており、内容を確認している。